

【修士論文】

評価基準

以下の評価項目をすべて満たし、最終試験を経て修士論文を評価する

評価項目

- 1 論文や作品のテーマの意義：論文や作品のテーマが学術的意義を明示しているか。
- 2 先行研究の概要：関連する基本的な先行研究を網羅し、その概要を明確に把握しているか。
- 3 優位性の提示：既存の研究に代わる優位性が示されているか。
- 4 研究方法の提示と妥当性：論証方法を提示し、それに妥当性があるか。
- 5 論理的な構成：問題設定から結論にいたる論旨が、論理的に構成されているか。
- 6 論文や制作の体裁：学位論文や学位制作として適切な形式を備えているか。
- 7 研究倫理の遵守：引用の明示や参考文献・関連資料への言及など研究倫理が遵守されているか。

審査体制

主査1名および副査数名で審査し、専攻会議の合議で評価する。

【博士論文】

評価基準

以下の評価項目をすべて満たし、最終試験を経て論文の合否を決定する

評価項目

- 1 論文や作品のテーマの意義：論文や作品のテーマが学術的意義を明示しているか。
- 2 先行研究の概要：関連する内外の先行研究を網羅し、その概要を明確に把握しているか。
- 3 新規性と優位性の提示：既存の理論や研究に代わる新規性や優位性が示されているか。
- 4 研究方法の提示と妥当性：論証方法を提示し、それに妥当性があるか。
- 5 論理的な構成：問題設定から結論にいたる論旨が、論理的に構成されているか。
- 6 論文や制作の体裁：学位論文や学位制作として適切な形式を備えているか。
- 7 研究倫理の遵守：引用の明示や参考文献・関連資料への言及など研究倫理が遵守されているか。

審査体制

主査1名および副査2名以上の審査委員の合議で評価する。